



紀貫之って、どんな人？

～『古今和歌集』の撰者、『土佐日記』の作者として
有名な貫之をもっと知ろう！～

知っているようで、よく知らないという人が多いのが、^{きのつらゆき}紀貫之ではないでしょうか。古典文学の世界では燦然と輝く存在ですが、当時はどのような生活をしていて、どのような功績を残した人なのでしょう。

『古今和歌集』の仮名序(仮名で書いた序文)や家集(和歌)、また、日本最初の日記文学『土佐日記』などを手懸かりにして、「紀貫之」という人物に迫りたいと思います。



和泉市久保惣記念美術館蔵

「三十六歌仙画帖 紀貫之」(住吉如慶作)

和泉市久保惣記念美術館 デジタルミュージアムより引用

★ 講師 日本古典文学研究者

近藤 美奈子氏

★ 日時 令和7年10月12日(日)13:30～15:00

★ 場所 サンシティホール 2F 講座室(1)

★ 対象者 中学生以上の伊丹市民

★ 定員 32名(申込者多数の場合は抽選)

★ 費用 500円

★ 締切日 9月20日(土)必着

※天候、その他により日程等変更になる場合があります。

講師 近藤 美奈子氏

高校生の時からの古典文学好きです。伊丹市高齢者大学講座では、平安初期の『伊勢物語』『竹取物語』から近世の『好色一代男』『雨月物語』に至る様々な作品を皆さんと一緒に楽しく読んできました。今は『土佐日記』を読んでいて、次は『和泉式部日記』を読む予定です。古典を愛する同志が増えることを願い、サンシティホール以外にも二つのカルチャーセンターで講座を持っています。私の専門は、『新古今和歌集』の注釈書研究です。今秋、今は亡き恩師が始めたプロジェクト『新古今集古注集成』(笠間書院)の最終巻が刊行されます。2023年夏頃、10年近く中断していたプロジェクトが完結すべく働き掛け、今、最終巻の刊行及びプロジェクトの完結を目前にして、自分の役目を果たせた事に安堵し喜びに浸っています。

申込方法 「往復はがき」又は「FAX」又は「メール」にて住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号(FAX番号)を記入し「特別文学講座」係と明記し下記までお申込み下さい。(窓口受付も可:はがき持参)(電話不可)

送付先 〒664-0023 伊丹市中野西1-148-1 サンシティホール

TEL:783-2350 FAX:785-2461

メールアドレス:sunhall@bca.bai.ne.jp